

施策の基本的な考え方と施策の展開

本県では、愛知万博の開催と中部国際空港の開港が重要な契機となり、多くの県民、NGO/NPO、市町村が一体となった国際交流が一段と加速されています。また近年、外国人県民は大きく増加し、今後ともその傾向は続くと予想されています。さらには、社会経済全般にわたって、国の枠を超えた地球規模での「グローバルな」活動が行われています。こうした状況を踏まえ、「2025年 愛知県の姿」を実現するため、以下の2つの基本的な考え方のもと5つの目標を掲げ、総合的な施策の立案・推進を図っていきます。

I グローバル化時代に飛躍する あいちの創造

グローバル化の進展に受身の姿勢で対応するのではなく、むしろ一層の発展の契機として捉え、世界に飛躍する愛知を目指して積極的な施策展開を行います。

そのために、国際的な交流を全世界に向けて一層進めるほか、グローバル化した世界の中で生き抜くための高い国際的競争力を維持することで、世界に飛躍するあいちを創造しようとするものです。

II グローバルあいちを 支える人づくり、社会づくり

人材育成においては、国際理解教育、世界規模の課題である環境や人権などについての教育、そして外国語教育の充実といったことのほか、留学生を始めとした海外の高度人材が活躍できる場づくりなどが重要になってきます。

また、多くの外国人県民が日本人県民とともに生き生きと暮らし活躍する社会づくりを行うことは、グローバル化時代を支える地域社会の実現のためにも非常に重要であります。

このような考え方の下に、日本人、外国人を問わず地域の担い手づくりと豊かな地域社会づくりに積極的に取組もうとするものです。